

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい児通所支援事業所 クレヨン (放課後等デイサービス)

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 18名

回収数 18人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1		法令に準じた確保をしています	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		5		法令に準じた人数を配置しています。又、児童指導員を各 3名配置しています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				2		安全な配慮には限度があり難しいが、安全な対応を行い、本児の能力向上の為と職員が伝えています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				1		毎日職員により、掃除を行っていて、人数よりも大きめのスペースにしている。換気・加湿等を季節、状況により行っている
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18						利用時の初めに個別表に記入して頂き、病名・服薬・発作・アレルギー・予防接種等の記入を依頼し、職員全員に把握してもらっている
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18						作成済みでホームページにて公表している
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18						保護者との日常的な送迎の中での話や相談を行い、ニーズを確認し計画を作成しています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				1		子ども一人一人に合ったガイドラインの項目を選択し、保護者のニーズも聞き計画を策定しています。職員に計画を確認してもらったうえで、その計画に基づき支援をし、随時修正や更新をするようにしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18						計画を支援室にファイルとして置いておき、何時でも職員が見て支援できるようにしている
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1					中間の活動をもとに支援する保育士や指導員がメインで立案・活動し、子どもの習得度に合わせて更新・調整をしています。また、子どものその時に出来る事に合った活動をしている
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	11			クラブや児童館へ通っている子どもはいるが地域の他の子どもとの活動する機会はない
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18						契約時に、管理者か児童発達支援管理責任者が説明しています
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18						利用時にニーズを聞き、支援計画を作成しサインを頂いています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	3	11			必要に応じて、ご家庭で取り組んでいただきたい内容と取り組み方を懇談し説明しています
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18						連絡帳や送迎時・懇談時に保護者に状況を伝え共通理解を持っています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3			1		1年に1回以上、懇談を取り入れ、保護者の方から希望がありましたら都度相談に応じています
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	11			3	4		父母の会を立ち上げる事は無くても行事を通して連携する場があるため、父母会は必要になったら立ち上げるので、現状継続します
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1			1		苦情受付担当を設けていますし、もし苦情や相談・申し入れがあれば直ちに保護者のところへ行き、話を聞き対処していく	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1			1年に1度保護者向け評価表にご協力頂いています。意向等管理者含め職員も把握し改善が必要であれば都度変更していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3		3	年度初めに1年間の行事予定表を保護者に出し、都度活動概要や、行事の時は伝えている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				個人ファイルは、鍵のかかるスチール製の棚にて管理しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		5	マニュアルは全て作成しており、職員はファイルに綴ったものに目を通してもらっているが、今年度は訓練を行っていない
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			8	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1	事故（けが等）があった場合、すぐに保護者に連絡をとりま
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児通所支援事業所 クレヨン (放課後等デイサービス)		7名		公表日	2025年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		低学年と高学年に分けて指導室を2つに分けて支援しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の配置数は基準をクリアしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		敷居は段差をなくして、玄関は大きめの段差にし、靴の履き脱ぎを座って行う様にしています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日職員により、掃除を行っていて、人数よりも大きめのスペースにしている。換気・加湿等を季節、状況により行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別の部屋は、隣接する事務所の一部を使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	7		良いと思われる業務改善は、都度話し合い行ってきている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		1年に1度保護者向け評価表にご協力頂いています。意向等管理者含め職員も把握し改善が必要であれば都度変更していきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月1度の職員会議を行っている また、意見がある時は都度、直接話を聞き改善出来る事であれば前向きに検討している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	今のところ必要とは思えないが、今後必要であれば検討する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	ビジョントレーニングの研修はおこなっているが、新年度で研修受講できる体制を作っていく	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成済みでホームページにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者との日常的な送迎の中での話や懇談を行い、ニーズを確認し計画を作成しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		真にかかわる職員と共に計画を作る時打ち合わせをして作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画を支援室にファイルとして置いておき、何時でも職員が見て支援できるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	利用時にアセスメントシート(個別表)に記入して頂き支援に反映させている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		子ども一人一人に合ったガイドラインの項目を選択し、保護者のニーズも聞き計画を策定しています。職員に計画を確認してもらったうえで、その計画に基づき支援をし、随時修正や更新をするようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	年間の活動をもとに支援する保育士や指導員がメインで立案・活動し、子どもの習得度に合わせて更新・調整をしています。また、子どものその時に出来る事に合った活動をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		計画については個別活動がメインになりますが、集団活動は行事等行う上で必要不可欠の為、計画には入れていません	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	掲示と伝達がある為、不安なく業務が出来ています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	シフトにより困難な時もあるが、隙間時間を利用し気になる事や、気付いたことを共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日誌と連絡帳にて日々の記録を取り支援の参考にしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月に1度 担当部所の職員全員と行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		発達管理責任者が確認し組み合わせている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		通所してきた日の遊びや行事の役割等子ども達で決める様促している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	担当職員・支援管理者・管理者が行けるもの2名が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	いつでも連絡がとれるようにしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		支援級に関しては情報共有出来ているが、普通級の場合、保護者への確認になる	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		保護者を通して情報交換をしたり、直接で良い場合は連携会議や引継ぎを行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		保護者を通し、サポートブックにて情報を提供しています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		6か月に1度、支援センター担当者とのモニタリングをし、連携をとっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	クラブや児童館へ通っている子どもはいるが地域の他の子どもとの活動する機会はない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	必ず参加するようにしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時・懇談時に保護者に状況を伝え共通理解を持っています	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	必要に応じ、個別懇談を行い、行政などと協力し出来る事を行っています		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に、管理者が児童発達支援管理責任者が説明しています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者に、ニーズや課題を専用の用紙に記入いただき計画を作成しています。確認をしてもらいそのうえで様子を見ながら、個別・集団のプログラムを考え支援し、6か月に見直しをかけています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		1年に1回以上、懇談を取り入れ、保護者の方から希望がありましたら都度相談に応じています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	父母の会を立ち上げる事は無くても行事を通して連携する場があるため、父母会は必要になったら立ち上げるので、現状継続します	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情受付担当者を設けていますし、もし苦情があれば直ちに保護者のところへ行き、話を聞き対処していく	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		年度初めに1年間の行事予定表を保護者に出し、都度活動概要や、行事の時は伝えている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人ファイルは、鍵のかかるスチール製の棚にて管理しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	賃貸なのですが、オーナーが夏祭りを開催しているので、協力し参加しています 昨年までコロナの関係で中止となっていました	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	防災時、地震時のマニュアルを作成しており、職員はファイルに綴ったものに目を通してもらっているが、今年度は訓練を行っていない	新年度には、訓練を予定している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	業務継続計画は策定し初年度なので、来年度から訓練を開始する	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		利用時の初めに個別表に記入して頂き、病名・服薬・発作・アレルギー・予防接種等の記入を依頼し、職員全員に把握してもらっている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	作成はしていて、何度か記入・対策を行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2		新年度に事業市内での研修をする予定
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	現在利用している子どもには、身体拘束の必要は無いものの、この件に関しては今後検討し必要になった時説明や計画に記載します		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 乳幼児保育 はらっぱ 障がい児通所支援事業所 クレヨン (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15件	(回答者数) 20件
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	低学年と高学年を別の部屋で支援することで年齢やレベルに合った支援をする事ができる	低学年は少人数で支援することで個々のサポートの充実につなげている	職員の増員が出来ればもっと手厚い支援が出来る
2	長期休み(夏・冬休み等)に給食を提供している	給食の食べ方や箸・スプーンの持ち方1つからでも、発達段階など見る事が出来る	
3	ビジョントレーニングを取り入れた支援をしている	ビジョントレーニングのアイストレッチなど個別で行う事を通して子ども1人1人に適した支援を行う事が出来る	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の数がなかなか増えない	募集をかけている	
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	障がい児通所支援事業所 クレヨン2		児発	公表日	2025年 4月 1日		利用児童数	7名	回収数	7名
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	6			1	法令に準じた確保をしています				
	2	5	1		1	具体的な事はよくわからない	法令に準じた人数を配置しています。又、保育士を2名配置、児童指導員を1名配置しています。			
	3	5	2			指導訓練室はバリアフリーにしています。2階は手すりを子ども用に低くし、滑らないようにカーペット生地にし、又、階段の上り下りでトレーニングもしています				
	4	6			1	毎日の掃除に加え1週間に3回シルバー人材に依頼していて、エアコン、加湿器等を完備しています				
適切 な 支 援 の 提 供	5	7				1年に1度保護者向け評価表にご協力頂いています。意向等管理者含め職員も把握し改善が必要であれば都度変更しています				
	6	7				公表している支援プログラムに合わせた支援計画を作成し、提供している				
	7	7				1年に1度保護者向け評価表にご協力頂いています。意向等管理者含め職員も把握し改善が必要であれば都度変更しています				
	8	7				児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				
	9	7				計画のコピーを、書道訓練室に配置し職員(指導員)が誰でも確認できるようにして支援を行っています				
	10	6	1			年間の活動をもとに支援する保育士や指導員がメインで立案・活動し、子どもの習得度に合わせて行進・調整をしています				
	11			1	6	7名中5名が、保育所や認定保育園などに通っています				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	7				契約時に、管理者が児童発達支援管理責任者が説明しています				
	13	7				利用時にニーズを聞き、支援計画を作成しサインを頂いています				
	14	3			4	必要に応じて、ご家庭で取り組んでいただきたい内容と取り組み方を懇談し説明しています				
	15	7				連絡帳や送迎時・懇談時に保護者に状況を伝え共通理解を持っています				
	16	7				1年に1回以上、懇談を取り入れ、保護者の方から希望がありましたら都度相談に応じています				
	17	7								
18	1		3	3		父母の会を立ち上げる事は無くても行事を通して連携する場があるため、父母会は必要になったら立ち上げるので、現状継続します				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1				苦情受付担当者を設けていますし、もし苦情や相談・申し入れがあれば直ちに保護者のところへ行き、話を聞き対処していく
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					1年に1度保護者向け評価表にご協力頂いています。意向等管理者含め職員も把握し改善が必要であれば都度変更していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			2		年度初めに1年間の行事予定表を保護者に出し、都度活動概要や、行事の時は伝えている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					個人ファイルは、鍵のかかるスチール製の棚にて管理しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		3		マニュアルは全て作成しており、職員はファイルに綴ったものに目を通してはいるが、今年度は訓練を行っていない
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				事故(けが等)があった場合、すぐに保護者に連絡をとります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					今後も子ども達に楽しく喜んでもらえる様職員一同頑張って支援していきます

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	障がい児通所支援事業所 クレヨン2		児発		公表日	2025年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		法令に準じた確保をしています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		法令に準じた人数を配置しています。又保育士を2名、児童指導員を1名配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		指導訓練室はバリアフリーにしています。2階は手すりを子ども用に低くし、滑らないようにカーペット生地にし、又、階段の上り下りでトレーニングをしています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の掃除に加え1週間に3回シルバー人材に掃除を依頼しています。エアコン、加湿器等、空気清浄機を完備しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		指導訓練室とお昼食用の部屋は別々にしている。個別になる時はその部屋を使用する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		担当の部署の職員全員とPDCAを行っている。全職員が集まらない時は、文書で参加するようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		1年に1度保護者向け評価表にご協力頂いています。意向等管理者含め職員も把握し改善が必要であれば都度変更しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に1度職員会議を行い意見などの把握している。又、問題があれば都度話し合いをして改善に心がけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	していません	今後、必要であれば検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	ビジョントレーニングの研修は行っている	新年度から、研修を受講できるような対策を作っていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて評価表を掲示していることを、保護者に伝え見てもらえるようにしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	保護者に、ニーズや課題を専用の用紙に記入いただき計画を作成しています。そのうえで様子を見ながら、個別・集団のプログラムを考え支援しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		子ども一人一人に合ったガイドラインの項目を選択し、保護者のニーズも聞き計画を策定しています。職員に計画を確認してもらったうえで、その計画に基づき支援をし、随時修正や更新をするようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者に、ニーズや課題を専用の用紙に記入いただき計画を作成しています。そのうえで様子を見ながら、個別・集団のプログラムを考え支援しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		年間の活動をもとに支援する保育士や指導員がメインで立案・活動し、子どもの習得度に合わせて更新・調整をしています。また、子どものその時に出来る事に合った活動をしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	計画については個別活動がメインになりますが、集団活動は行事等行う上で必要不可欠の為、計画には入れていません	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	掲示と伝達がある為、不安なく業務が出来ています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	シフトにより困難な時もあるが、隙間時間を利用し気になる事や、気付いたことを共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	連絡帳・日誌を毎日記録を取り、支援の参考にして振り返りが出来る様にしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月に1度担当部署の職員全員と行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者・支援管理者・管理者が行けるもの2名が参加しています。又相談支援事業所とも行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			小学校から依頼があれば、保護者を通して情報共有は可能
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	6か月に1度、支援センター担当者とモニタリングをし、連携をとっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	保育園、こども園、幼稚園に通っている子どもが利用している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時・懇談時に保護者に状況を伝え共通理解を持っています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	必要に応じて、ご家庭で取り組んでいただきたい内容と取り組み方を懇談し説明しています		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			保護者に、ニーズや課題を専用の用紙に記入いただき計画を作成しています。確認をもらいそのうえで様子を見ながら、個別・集団のプログラムを考え支援し、6か月に見直しをかけています
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			1年に1回以上、懇談を取り入れ、保護者の方から希望がありましたら都度相談に応じています

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	仕事等で忙しい保護者が多く集まるのが難しい。父母の会を立ち上げる事は無くても行事を通して連携する場があるため、父母会は必要になったら立ち上げるので、現状継続とする	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		子どもの相談はもちろん聞き入れ都度対応しています。保護者の相談にも早々に話し合い適切に対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		年度初めに1年間の行事予定表を保護者に出し、3ヶ月に1度のペースで会報を発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人ファイルは、鍵のかかるスチール製の棚にて管理しています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		言葉での意思の疎通が難しい子は、言葉の出る「あいうえお表」で情報伝達を図り保護者には送迎時に必ず言葉掛けを心がけています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	自立支援協議会にて展示会を図書館で開き地域の方や保護者に見に来てもらった。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		重要事項には記載していますが、マニュアルは開示していませんでしたので、各指導室に配置し、何時でも閲覧出来るようにしてお便りにて全保護者に分かるように配布します。また、ホームページにもニュース欄に訓練等の様子を開示します	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用時の初めに個別表に記入して頂き、病名・服薬・発作・予防接種等の記入を依頼し確認をしています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		利用時の初めに個別表に記入して頂き、気を付ける食べ物を確認しています。又、1カ月の昼食のメニューを確認してもらう等の対応をしています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		作成はしていて、何度か記入・対策を行っています	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	4	新年度に事業所内での研修をする予定		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	現在利用している子どもには、身体拘束の必要は無いものの、この件に関しては今後検討し必要になった時説明や計画に記載します		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 乳幼児保育 はらっぱ 障がい児通所支援事業所 クレヨン2 (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日 ~ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7件	(回答者数)	7件
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日 ~ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援だけの支援事業所になっている 放課後等デイサービスは別棟で行っている	月2回、専門の先生を呼んでビジョントレーニングを行っている。	ビジョントレーニングのセミナーなどに行き、現在の資格の うへのランクに出来ればよい
2	食育を歌ってはいないが、同じ建物内で昼食を作り提供している	1人1人に応じた(食事)提供方法を取り、少しでも多くの食 べ物が食べられるようにしている	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の数がなかなか増えない	業界が人手不足なので、何か事業所として強みを計れば良い	
2			
3			